

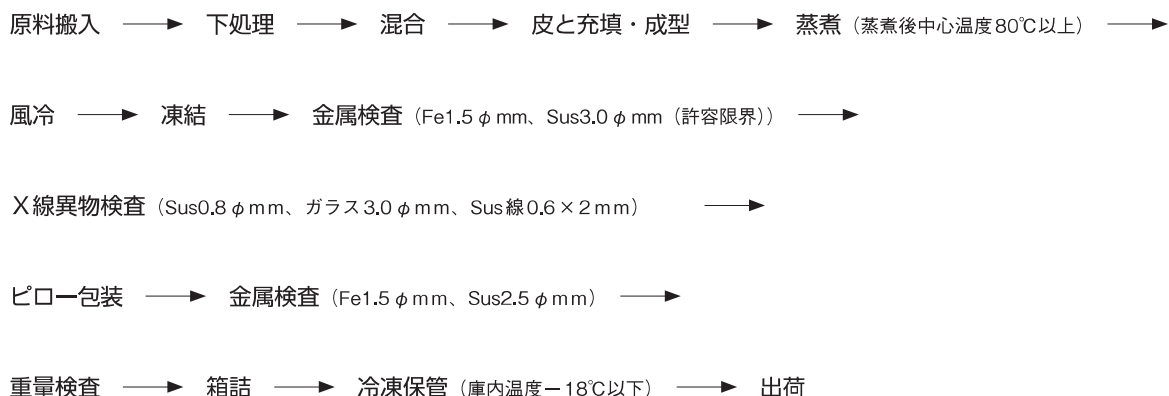
食ものがたり

餃子について

餃子が日本に広まったのは昭和初期に中国に住んでいた日本人が日本に戻り中国で食べた餃子をなつかしんで日本でも作るようになり、中国では入れてないニンニクを入れるなどの改良をして、今私たちが食べている日本人にあった餃子が完成しました。

餃子の「餃」は、「食（べもの）」で「（人が）交わる」と書きます。家庭でも親子や友達みんなと一緒に作って家族の絆、人と人の絆を深めてはいかがでしょうか。

製造工程図



学流協の推奨品 開発テーマ

学校給食環境・喫食形態の多様化に配慮し、『おいしく安全・楽しく食育』にふさわしい優良食品の開発に取り組む。

当協会は、流通会員（学校給食に強い関心を持ち地域を代表する業務用問屋）と生産会員（学校給食向けの優良食品を生産する有力食品メーカー）で構成する公益法人で「学校給食の充実改善に寄与すること」を目的とし、学校給食用優良食品の開発・選定・普及と情報提供活動を主たる業務として行っております。

開発食品選定委員（学識者）

委員長	田島 真	実践女子大学名誉教授	副委員長	石井 克枝	千葉大学名誉教授
委員	鈴野 弘子	東京農業大学教授	委員	原 正美	京都光華女子大学教授
〃	原島恵美子	神奈川工科大学准教授	〃	石田 裕美	女子栄養大学教授
〃	岩瀬 充子	茨城県新採栄養教諭指導員	〃	石川久美子	（公社）全国学校栄養士協議会前理事



公益社団法人 学校給食物資開発流通研究協会（略称：学流協）
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-2-12 TEL:03 (5298) 6125

E-mail : grk-21@ac.auone-net.jp
<http://www.gakuryukyo.or.jp/>